



2022年10月吉日

DAMA 日本支部

Asian Data Management Conference 2022 in Japanのお知らせ

Data Management Association International (DAMA-I) は、世界各地に 90 の支部を持ち、8,000 名を越える会員を擁する、データ専門家のための国際的な非営利団体です。特定のベンダーや技術、手法に依存しないことを前提として、データや情報、知識をエンタープライズの重要な資産として管理する必要性の理解を促し、この分野の成長を推進しております。我が国においても、2010 年から Japan Chapter として活動を行っております。その活動の一環として、毎年 DAMA-I からのスペシャルゲストを招聘し、カンファレンスを開催しております。第 12 回目を数える今回は以下の概要で開催いたしますので、積極的なご参加を宜しくお願い申し上げます。

本年は、海外の有識者講演として John O'Brien 様と、Peter Aiken 様に海外の最新事情について講演いただきます。また、武田薬品工業株式会社の清水 隆介様、日本電信電話株式会社の駒沢 健様に国内の取り組み事例をご紹介します。

なお、DAMA 日本支部は有志によるボランティアで運営しております。カンファレンス参加者におかれましても、開催・設営へのご協力ならびにご理解をいただけると幸いです。

概要

| | |
|------|---|
| タイトル | ビジネスを牽引するデータアーキテクチャの今 |
| 開催日時 | 2022年11月15日(火) 10:00~17:00 |
| 会場 | Zoom ウェビナー ※今回開催はオンラインでの実施のみで会場実施はありません |
| 参加費 | 無料 |
| 定員 | 500名 ※定員になり次第、お申し込みを締め切らせていただきます |
| 主催 | DAMA日本支部 【後援】 IIBA 日本支部  IASA 日本支部  日本データマネジメント・コンソーシアム [JDMC]  特定非営利活動法人 UML モデリング推進協議会 (UMTP)  |
| URL | https://www.dama-japan.org/ADMC2022.html |

プログラム

| | | |
|-------------------------|--|--|
| <p>10:00～ 10:25</p> | <p>林 幹高 木山 靖史 DAMA 日本支部 会長</p>   | <p>オープニング・ご挨拶 Asian Data Management Conference 2022 in Japan 開催にあたって（ご挨拶）</p> |
| <p>10:25～ 11:35</p> | <p>John O'Brien 氏 Radiant Advisors CEO and Principal Advisor</p>  | <p>Building a Roadmap for Modern Data Architecture 「モダンデータアーキテクチャ構築に向けたロードマップ策定」</p> <p>【講演概要】 多くの企業がデータ分析主導の組織変革を進め、競争力とレジリエンスを高めるために、Modern data architectures を採用しようとしています。 しかしながら、ビジネスの優先順位に沿った実行可能なロードマップを慎重に作成しないため、手詰まりが発生してしまうケースが多く見受けられます。 本セッションでは、ビジネス戦略を実現するためのデータ戦略から、モダンデータアーキテクチャを実装するためのデリバリーロードマップまでのステップを解説するとともに、最新のモダンデータアーキテクチャとそのコンポーネントを説明します。</p> |
| <p>11:35～ 11:50</p> | <p>Coffee Break ※配信コンテンツはございません。</p> | |
| <p>11:50～ 12:40</p> | <p>Lightning Talk</p> | <p>スポンサー各社による Lightning Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社プライド ・株式会社アイ・ティ・イノベーション ・インフォマティカ・ジャパン株式会社 ・Metafindコンサルティング株式会社 |
| <p>12:40～ 13:30</p> | <p>Lunch Time ※配信コンテンツはございません。</p> | |

| | | |
|-------------------------|--|--|
| <p>13:30～ 14:30</p> | <p>清水 隆介 氏 武田薬品工業株式会社 データデジタル&テクノロジー 部 課長代理</p>  | <p>セルフデータ分析時代における分析環境のあるべき姿</p> <p>【講演概要】 データアナリストやデータサイエンティストが活躍する「セルフデータ分析時代」において、データガバナンス、並びにデータマネジメントは必須の課題となります。 武田薬品工業のセルフデータ分析時代に向けた取り組みをご紹介します。</p> |
| <p>14:30～ 14:40</p> | <p>Coffee Break ※配信コンテンツはございません。</p> | |
| <p>14:40～ 15:45</p> | <p>Dr. Peter Aiken 氏 DAMA International 会長</p>  | <p>Data Literacy for Knowledge Workers 「知識労働者のためのデータリテラシー」</p> <p>【講演概要】 これまでのデータリテラシーに関する取り組みの多くは、データ専門家の能力を高めることに重点を置いていました。 しかしながらデータ専門家だけでなく、組織のナレッジワーカー全員のデータリテラシーを向上させることが組織のデータ資産をさらに活用するために有効です。 本セッションでは、組織のナレッジワーカーがベストプラクティスを学ぶことによる、生産性の向上と利益の獲得についての事例を説明します。</p> |
| <p>15:45～ 16:00</p> | <p>Coffee Break ※配信コンテンツはございません。</p> | |
| <p>16:00～ 17:00</p> | <p>駒沢 健 氏 日本電信電話株式会社 技術企画部門 IT推進室 次長</p>  | <p>All NTT Groupのデータマネジメント/ガバナンスのためのアーキテクチャー、その試行錯誤から見えてきた新たなインサイトを語る</p> <p>【講演内容】 NTT持株会社におけるNTTグループを横断したデータマネジメント/ガバナンスのために、その取り組みの根幹となったエンタープライズアーキテクチャーについて、成功・失敗も含めた取り組みの実像を語ります。 実際に採用し、育てていった「データドリブン・マチュリティモデル」や「べし・べからず集」に関して、これからデータマネジメント/ガバナンスに取り組むユーザー企業のために生々しい実態を解説します。</p> |
| <p>17:00～ 17:05</p> | <p>クロージング</p> | <p>コンテンツ・ダウンロードページのお知らせ アンケートのお願い</p> |

※プログラム内容は予告なく変更される場合があります。予めご了承下さい。